

CMS機能要件一覧表

本業務の委託費用内において、次の項目の要件を必ず満たすこと(パッケージ標準、オプション、カスタマイズ等の内容は問わない)。
要件を確認し、対応欄に「○」または「△」を入力してください。
※代替案により実現可能な場合は対応欄に「△」を記入し、備考欄に代替案の実現方法を記入すること。
「×」の記載がある場合は審査の対象としません。

1. 基本要件			
		対応欄	備考欄
基本	CMS利用にあたって、各職員のクライアント端末に特別なアプリケーション等をインストールすることなく、ウェブブラウザから利用できること。		
	各職員のクライアント端末から、ウェブブラウザを通して、ID、パスワード認証にてログインできること。		
	端末台数やユーザ数、ページ数やテンプレート数の増加により、ライセンス料が変動しないこと。		
	ユーザ全員に個別のID、パスワード(原則として8桁以上)を付与できること。		
	データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルは全てスタイルシートで管理すること。		
	生成されるコンテンツデータ(ページ)については、HTML5以上の規格に準拠し、Web標準に配慮した文書構造を持つこと。アクセシビリティツールによる、コンテンツの音声読み上げ機能に対応していること。		
	UTF-8の文字コードに対応すること。		
	1つのページ内で複数の言語の記述が可能であること。		
	WWWサーバーに公開されるファイルは静的なHTMLであること。ただし、イベントカレンダー等で動的に表示させることが望ましいページがある場合は、その限りではない。		
	閲覧者が画面をA4縦型印刷する際、ブラウザやOSに関わらず内容が損なわれることなく印刷できること。		
全ページをレスポンスWebデザインとすること。			
デザイン	サイト全体として、統一化されたページデザインとすること。		
	トップページ等は、HTMLやCSSの知識がある職員(管理者)レベルで、軽微な文字修正ができること。		
	災害などの際に、トップページへ緊急情報を表示する機能を有すること。		
分類	分類は、閲覧者にとっての使いやすい内容にし、ピクトグラムを用いるなど文字だけでなく、分類内のコンテンツの内容が視覚的に分かるようにすること。		
	分類ごとに分類トップページを作成すること。		
	分類トップページとは別に、課室ごとにページを作成すること。		
	ページ作成時に、掲載するカテゴリ分類を容易に選択できること。なお、1つのページについて複数の分類を登録できること。		
	作成済みのページを、URLを変えずに容易に別の分類に移動できること。		
サブサイト	サイト全体の階層構造とは異なる独自のメニュー構造(階層構造)を持ったまとまりを、サブサイトとして管理できること。独自のメニュー構造は、分類とは独立して存在すること。		
	サブサイトは、任意のデザイン及び任意のレイアウトで構成できること。		
	サブサイトは、専用のトップページを有すること。(3つ)		
	各サブサイトは複数の所属で共同管理できること。		

2. ページ作成機能			
基本的な仕様	作成者がHTML言語を意識することなくワープロ感覚でコンテンツを作成でき、実際にスマートフォンで掲載されるプレビュー画面を見ながら作成できること。		
	テンプレートを使用することで、専門知識を持たない職員でも編集ができ、また、見出しや段落、表等がタグの知識を持たなくても容易にコンテンツに反映できること。		

【様式エ】CMS機能要件一覧表

	Microsoft Wordと同様のツールバー機能があり、テンプレートを選択することで、統一したデザインのページ作成が可能なこと。		
	アンケートの収集等に用いるフォーム入力型及びイベント等のお知らせに用いる情報入力型のテンプレートのいずれも利用できること。		
	作成したページの定位置に、ログインしたユーザの担当課情報(課名・電話番号・ファクス番号・メールアドレス)が自動的に記載されること。管理者の権限で電話番号・ファクス番号・メールアドレスを非表示にできること。また、あらかじめ登録してある複数の問い合わせ先が表示でき、任意に選択できること。		
	コンテンツ作成完了時、必須項目に未入力があった場合、警告を表示しスムーズに修正できること。		
	ページのレイアウト及びコンテンツはコピーして再利用ができること。		
	ファイルの保存時には、自動的に連番のファイル名が入ること。また、必要に応じて任意のファイル名が指定できること。		
	コンテンツ、画像、添付ファイルのファイル名が、日本語名等のサーバー上で使用できないものである場合には警告を表示し、スムーズに修正できること。		
	作成時に操作を誤った場合、その操作の1つ前の状態に戻すことができること。		
	作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。		
	検索サイトで上位にコンテンツを表示させる機能(SEO)対策として、検索用キーワードを容易に設定できること。		
	権限を与えられた作成者は、HTMLのソースコードを直接編集できること。		
他データの流 用・表の編集	Word、Excelデータをコピー&ペーストできること。その際、アプリケーション特有のHTML(CSS)表現を自動的に削除できること。		
	Word、Excelデータから取り込んだ(もしくはコピー&ペーストした)表は、再編集できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定等が、ソースコードを直接編集することなく容易に操作できること。		
	表を新規で作成できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定等が、ソースコードを直接編集することなく、容易に操作できること。		
	表の幅をスマートフォンやタブレット、パソコンなどの利用媒体に合わせて調節できること。		
	市ホームページのページ内検索で、市が指定する他のサイト(観光サイトやFAQ、平和)の情報を検索できるようにすること。		
画像	簡易な操作でクライアント端末やCMSサーバ上にある画像を掲載・参照し、変更できること。		
	全作成者が共通で使用可能な画像の素材集をCMSサーバ上に設置でき、一覧表示の中から選択して使用できること。また、その素材集は、管理者によって追加、削除が可能なこと。		
	画像に説明やリンクをつけられること。		
	画像の代替テキスト(alt属性)の未入力を防ぐために警告が表示され、入力しないと進めないようにすること。		
	登録できる画像のファイル種別(JPEG、GIF、PNG等)を制限できること。		
	公開する画像のファイル容量又は画像サイズを制限できること。		
	制限容量を超えた画像は自動でリサイズ、又は警告を表示できること。		
	クライアント端末にソフトをインストールすることなく、画像のリサイズ、トリミング、解像度の変更等、画像の編集機能があること。		
	簡単な操作で画面上の指定された位置に、文字の挿入が行えること。挿入できる文字列は、文字の変更、文字サイズの変更、文字色の変更、文字列に影付き等の見やすくするための装飾が行えること。また運用に合わせて制御することができること。		
	画像の表示位置、表示サイズが選べること。		
添付ファイル	ページにWord、Excel、PDF等の各種文書ファイルをリンクできること。		

【様式エ】CMS機能要件一覧表

	リンクした文書ファイルの種類 (Word、Excel、PDF等)、ファイルサイズの表記が自動で挿入されること。		
	PDFをリンクした場合、ページ下部にAdobe Readerのダウンロードを促す案内が、自動で挿入されること。		
	ダウンロードファイルのリンクは、任意の場所に表示できること。		
	ページからリンクする文書ファイル等の種類、容量を統一して制限できること。		
リンク	内部リンク・外部リンクを容易に設定できること。		
	内部リンクは、一覧等からリンク先を選択するだけで容易に設定できること。		
	外部リンクを設定した場合、リンク文字列の後ろに「外部リンク」等の文言を自動挿入できること。		
	リンク先を表示する際、別ウィンドウで開く設定が可能であること。		
	公開前(未承認)のページに対してリンク設定ができること。(新規に作成したコンテンツのアドレスが公開前に確認できること。)		
	ファイルの格納場所や、ファイル名が変更された場合等、リンクに関わる変更があった場合には、自動的に該当するリンクが修正されること。		
	コンテンツ公開開始時に、パンくずリスト、指定した分類インデックス、ローカルナビゲーションおよびサイトマップにページタイトルをリンク名としたリンクが自動生成され、公開終了時にそれらが自動削除できること。		
	内部リンク・外部リンクのリンク切れを一括でチェックでき、一覧として作成者・管理者が確認できること。		
	内部リンク・外部リンクのリンク切れをページ単位でチェックでき、ページ内のどの部分にリンク切れがあるか視覚化して確認できること。		
アクセシビリティ及びチェック機能	ページ単位でアクセシビリティ上の問題を総合的にチェックできること。また、問題箇所をプレビューイメージにて明示し、なぜ問題があるのか、どう修正したら良いのかを表示できること。		
	承認ルートにのせる前に各所属でアクセシビリティのチェックができること。		
	コンテンツ作成時にアクセシビリティ等に関する項目のチェックを自動で行い、問題がある箇所は警告を表示し、自動変換できること。 例) ・画像の代替テキストの有無 ・日付、時間などの表記 ・全角英数字、半角カナ使用の有無 ・機種依存文字の使用 ・不要な全角スペース、半角スペースの使用 ・ページタイトルの有無 ・ファイル名の有無		
	ページタイトル及びファイル名は重複チェックが可能で、必要に応じて重複を許可することができること。		
	使用が好まれない単語が含まれている場合、管理者が指定する単語に自動変換する機能があること(例:「子供」→「子ども」)。変換対象とする単語は、管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。		
	使用が好まれない単語の自動変換機能については、コンテンツ内容によってはあえて表記する場合も想定できるため、ページ作成者が変換候補とは異なる文字も使用できること。		
	画像の代替テキストとしての使用が好まれない単語(例:「写真」、「画像」)が設定されている場合、警告を表示できること。警告を表示する単語は、管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。		
	リンクのタイトルテキストとしての使用が好まれない単語(例:「こちら」、「こちらをクリック」)が設定されている場合、警告を表示できること。警告を表示する単語は、管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。		
	表(テーブル)の構造化チェック、キャプションに指定された文字列のチェックを行えること。		
	見出しの構造化チェックが行えること(例:見出し1の有無、見出し1、見出し2などの階層構造)。		
	すべてのページに文字拡大機能を有すること。		
	すべてのページに文字色・背景色変更機能を有し、マニュアルに文字色・背景色・文字ポイント等におけるルールを明記すること。		

【様式エ】CMS機能要件一覧表

	複数の音声読み上げソフトに対応できるよう、作成されたコンテンツのソースはアクセシビリティに配慮した順番で記述されること。		
	アクセシビリティチェック時に、読み上げ順を確認できること。		
	文字色と背景色の組み合わせが、色覚に障害のある人に適切かどうかを確認できること。		
	コンテンツ一覧画面においてアクセシビリティに違反するコンテンツが一目でわかるよう表示できること。		
地図	GoogleMapsなどを用いて、地図情報を提供できること。また、住所や施設名等を入力することで簡単に掲載する地図の場所を指定できること。		
	同一の地図内に、複数の施設が表示できること。また、ジャンル別や地区別に表示が可能なこと。		
動画	CMSで作成するページ内に、YouTube等の動画配信サイトに掲載した動画を埋め込み再生できること。埋め込みは各所属で容易にできること。		
	様々なサイズやファイル形式で動画のアップロードが行えること。ただし、サイズの制限設定があること。		
SNS	ホームページ作成画面内で、SNS(X(旧Twitter)など)の自動投稿の設定ができ、ページ公開時に自動でSNSへ投稿できること。また、自動投稿するかどうか、それぞれ可否区分を設けること。		
	自動投稿の内容(文章など)については、ホームページ作成画面で自由に入力できること。		
外部取り込み	外部で作成されたHTMLファイルや画像ファイルなどを、リンク関係を保持したまま一括でCMSへ取り込めること。		
	取り込んだファイルは、CMS内で作成するHTMLファイルと同様の操作で再編集できること。		
コンテンツの公開・削除・再利用	各課室の作成者が公開開始・終了日時を入力することで、指定した日時にコンテンツの自動更新ができること。		
	公開期限は、年月日のほかに15分単位(5分や10分でも可)で時間指定できること。		
	公開日時を指定しないコンテンツの場合は、即時公開の設定が容易にできること。		
	公開期限を無期限とする設定が容易にできること。		
	すでに公開されているコンテンツを未来の日付で更新する場合は、現在のコンテンツを直接編集し日時を設定することで、予定の日時にコンテンツが自動更新されること。		
	各ページに公開日および最終更新日が自動的に表示されること。ただし、任意の日付に置き換えができること。		
	ページの公開・更新を行った際、ページのカテゴリ一覧も自動で更新(タイトルの後ろ等に更新日を自動挿入)されること。		
	ページを非公開及び削除する際、ページのカテゴリ一覧からも自動削除されること。		
	ページを公開サーバから削除する際、HTMLファイルだけでなく、付属する画像ファイルやPDFファイル等も同時に公開サーバから自動削除できること。		
	対象の画像やPDF等のファイルが、削除対象ではないページからリンクされた状態にある場合、サーバ上に残ること。		
	公開が終了したページは再利用できるようにCMSサーバに保存できること。		
	CMSサーバに保存されているページを一覧から選択・複写し、新規ページを作成できること。		
	公開が終了したページの一覧を表示でき、権限の設定により一括又は選択してCMSサーバから削除できること。		
プレビュー	作成・承認の各段階で容易に、スマートフォン等のプレビュー画面を閲覧できること。また、プレビュー画面からは、容易な操作で作成画面等に戻れること。		
	当該ページからリンクをたどる形で、内部リンク先のページも含めて公開時と同じ状態でプレビューできること。		
	ページのプレビュー画面でカラーユニバーサルデザインに即したデザインになっているかどうかを視覚的に把握できる機能を有すること。		

【様式エ】CMS機能要件一覧表

	任意の未来日を指定して、その時点でのページおよびサイト全体をプレビューできること。		
	フィーチャーフォン・スマートフォン版ページ等、他のメディアへの表示もプレビューできること。		

3. 自動更新、自動生成機能

新着リンク	コンテンツ作成時に、指定するページ(トップページ、課室トップページ、分類トップページ等)への新着情報掲載の有無を設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。		
	新着情報に掲載した情報は、自動的に掲載した日付の降順で表示されること。		
	新着情報に表示しきれない情報は、新着情報一覧ページに別途表示できること。		
	トップページの新着情報に表示できる件数、表示順を、管理者が任意に変更できること。		
	新着情報に表示するタイトルを、ページのタイトルとは別に設定できること。		
ナビゲーション	すべてのページにトップページへ戻るリンクを設定し、統一した所定の位置に表示すること。		
	各ページに、ページタイトルを自動的に引用したパンくずリストを自動生成できること。		
	パンくずリストは、分類別の設定に対応できること。		
	各ページにグローバルナビゲーション・ローカルナビゲーションを自動生成できること。		
	サイトマップを自動生成できること。		
	Googleにクロールさせるためのサイトマップ用XMLファイルを自動で作成・更新できる機能を有すること。		
	対象ページが公開された際、ナビゲーションも自動更新され、公開終了時にはそれらを自動的に削除すること。		
RSS	サイト全体あるいは分類ごとの新着情報を、RSSフォーマットで出力できること。		
	市が指定するページに、長崎市以外からRSSで配信される情報を表示するエリアを設けることができること。		
イベントカレンダー	各イベント情報の詳細ページにリンクが設定されたイベントカレンダーが自動生成でき、各課室が入力したイベント情報を月ごとに集約表示できること。		
	コンテンツ作成時にイベントカレンダーへの掲載の有無を容易に設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。		
	カレンダーの表示方法は、一覧表示、マス目表示といった表示方法を利用者が選択できること。		
	カレンダーに掲載されている内容を、閲覧者が分類別に抽出できること。		
レコメンド	「このページを見た人はこんなページも見ています」といった、お勧めページを最終ページへ自動的に表示できること。		

4. 他のメディア向けサイト

パソコン用サイト	スマートフォン端末に対応したページを作成した際、パソコン用のページも同時に自動作成できること。		
	パソコンで閲覧する際、最適化されたレイアウトで表示されること。		
	パソコンの利用シーンを想定した、専用のトップページを作成すること。		
フィーチャーフォン用サイト	PCページを作成した際、同時に携帯ページも自動作成できること。		
	最低限、主要3キャリア(ドコモ、au、ソフトバンク)の携帯電話に対応すること。		
	携帯電話の数字キーを用いて移動できるリンクを設定できること。		
	電話番号に発信できるリンク、メールアドレスにメール送信できるリンクを設定できること。		
	携帯サイト内の検索機能を有すること。		

5. 管理者の管理機能			
基本機能	複数ユーザが同時にログインできること。		
	各担当者や所属部署により、コンテンツのグループごとに編集権限を設けることができること。		
	ログインするユーザIDにより、それぞれの権限に応じた画面が表示されること。		
	ログイン画面上に、CMS利用上の注意等を促すメッセージを掲載できること。		
	管理者は、作成されたコンテンツを所属部署ごとに集約して表示できること。		
	同一ページを同時に別々のユーザが更新できないこと。又は更新しようとする際に警告が表示されること。		
管理者の権限	管理者は、サイト内の全てのページを編集する権限があること。		
	管理者は、全てのページを承認ルートによらないで即時公開できる権限があること。また、指定したユーザに即時公開(災害発生時の公開等)の権限を与えられること。		
	管理者は、CMSに登録されている全ページの情報(ページタイトル、階層構造、ディレクトリ)をCSV等に出力できること。		
	管理者は、分類の追加・変更・削除、コンテンツの振り分けができること。		
	管理者は、全てのコンテンツの状態(作成中・承認待ち・公開中・非公開等)を一覧で確認でき、CSV等に出力できること。		
	ヘッダー・フッター等のサイトの共通部分は、管理者のみが変更できること。		
	管理者は、入力禁止文字の登録・変更・削除ができること。		
	管理者は、入力禁止文字が使用されているページを検索できること。また、検索後に置換できること。		
ユーザ管理	管理者は、ユーザの登録・更新・削除を行えること。また、ユーザの操作権限・ID・パスワード等の管理ができること。		
	管理者は、登録のユーザ情報をCSV等に出力できること。また、事前にExcel等のデータで作成したCSV等を利用してユーザ情報をCMSに取り込めること。		
	管理者は、人事異動時に伴うユーザの所属変更を、事前にExcel等のデータで作成したCSV等を利用して簡単に行えること。また、年度末などの指定された日付で変更を適用できること。		
	管理者は、ユーザの操作履歴(ページの公開・削除、操作日時・操作者・操作ページ・操作内容等)を確認でき、CSV等に出力できること。		
組織管理	管理者は、組織情報(部署・施設名、問い合わせ先情報等)の管理ができること。		
	管理者は、登録の組織情報をCSV等に出力できること。また、事前にExcel等のデータで作成したCSV等を利用して組織情報をCMSに取り込み、組織改編等に簡単に対応できること。		
	管理者は、所属の統廃合・追加・問い合わせ先変更等、組織改編による情報更新を事前に予約でき、年度末などの指定された日付で変更を適用できること。		
	管理者は、組織改編時にページの移動(所属分類の変更)等が簡単に行えること。		
テンプレート管理	管理可能なテンプレート数に上限がないこと。		
	テンプレートは、HTMLやCSSの知識がある職員(管理者)レベルで、修正、追加、削除ができること。		
	テンプレートの修正があった場合、該当テンプレートを使用している全てのページを自動更新できること。		
災害管理	災害や断水等の緊急時、トップページの目立つ位置に災害情報を配信できること。		
	大規模災害等の緊急時向けトップページのテンプレートを作成すること。		
	管理者は、簡易な操作で緊急時向けトップページに切り替えられること。		
	長崎市防災行政無線の内容と連携し、その内容を記載したページを自動生成すること。		
バナー広告	トップページ・分類トップページ等任意のページの市が指定する位置に、複数のバナー広告を表示できること。		

【様式エ】CMS機能要件一覧表

	トップページ・分類トップページ等、市が指定する任意のページの位置にローテーションバナー広告を表示できること。		
	管理者のみがバナー広告を管理・掲載・削除でき、特別な知識がなくても容易に操作できること。		
	掲載期間を設定することで、あらかじめ登録しておいたバナー広告を自動的に掲載開始・終了できること。		
	バナー広告の表示数は、容易に変更できること。		
	画像データは、JPEG・GIF(透過GIF・アニメーションGIF)・PNGが使用できること。		
	画像バナーに限らず、テキストバナーも容易に掲載できること。		
	バナー広告の空きスペースには、募集中等の代替画像を表示できること。		
	設置されたバナー広告がどれだけクリックされているかを集計する機能があり、集計された結果をCSV等に出力できること。		
カウントダウン	イベント等の開催日まであと何日といった表示ができること。また、説明を添えられ、詳細ページへのリンクが貼れること。		

6. 承認ワークフロー

基本仕様	作成者から承認者への3段階以上の承認ルートがあること。		
	管理の対象ごとに異なった承認ルートを設定することができ、上限は設けないこと。		
	管理者は、承認ルートの変更や追加を容易な操作で行えること。		
	管理者は、全てのコンテンツの承認状況を確認できること。		
	承認者は、承認依頼を受けたページに対し、アクセシビリティチェックやプレビューを行えること。		
	承認依頼時や差し戻し時に、メールによる連絡が送信されること。		
	作成者・承認者は、所属のコンテンツの承認状況を確認できること。		
	承認者は、承認依頼を受けたページを差し戻す際、作成者向けにコメントを追記できること。		
承認依頼中の修正	承認依頼中のページを作成者自身が引き戻し、ページ内容を再編集できること。		
	承認者は、承認依頼を受けたページを上書き編集できること。		

7. その他の機能

定型的なページと専用の登録画面	定型的に情報登録を行うことで、決められた位置に決められた内容の情報を任意の順番で表示されるページを作成管理できること		
	ページ作成画面においては、あらかじめ登録内容、登録方法が決められた各項目に情報を記入したり選択肢から選択するだけでページが作成されること。		
	ページ作成画面における登録項目については、管理者が、その登録方法(テキストエリア、ラジオボタン、チェックボックスなど)や必須の設定、登録内容の制限(最大文字数の制限など)を各項目ごとに自由に設定することが可能で、かつ項目数に上限なく追加更新できること。		
	定型的なページは何種類でも作成管理できること		
	定型的なページは、それ以外のページ(WYSIWYG機能などで作成したページ)と比べ、分類や特定のページへのリンク掲載などにおいて、全く同様に設定管理できること。		
	定型的なページはそれ以外のページ(WYSIWYG機能などで作成したページ)と同様に、そのデザインはテンプレート化され、CSSにて定義されること。		
	定型的なページはそれ以外のページ(WYSIWYG機能などで作成したページ)と同様のルールと機能にて、アクセシビリティ面でのチェックや対応が可能であること。		
	定型的なページはそれ以外のページ(WYSIWYG機能などで作成したページ)と同様の承認ルート設定が可能であること。		

【様式エ】CMS機能要件一覧表

外国語翻訳	英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語に加え、ネパール語、タガログ語など長崎市に居住する割合が高い外国人の言語などを含めた7カ国以上の言語に対する自動翻訳システムを導入すること。		
	別に作成した、英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・タイ語・タガログ語のテキストデータをCMSに取り込んで、正常に表示できること。		
音声読み上げ	スピード変更、マウスポイントでの部分読み上げができる。		
	読み間違い修正の辞書登録は、簡単にでき、登録単語数・文字数に制限がない。		
	利用者側が、読み上げ箇所を特定・認識できる、ハイライト、文章拡大表示、自動スクロール機能を付随。		
	CMSのプレビュー画面で音声読み上げの内容を確認することが可能。		
アクセス解析	ページごとのアクセス件数、検索キーワード等が取得できること。		
	閲覧者の使用するブラウザ・OS・閲覧媒体が集計できること。		
	閲覧者の接続ポイント(都道府県・市区町村)が集計できること。		
	解析結果は、CSVファイル等で保存・出力できること。		
	庁内LANからのアクセスと外部からのアクセスを区別して集計できること。		
サイト内検索	キーワードでサイト内のページが検索できるよう、検索の入力フォームを全ページに配置すること。		
	キーワード完全一致の検索だけでなく、表記の違いがあっても検索結果が表示される同義語検索機能が備わっていること。		
	検索結果のページは、サイト内の他のページと同様、同じ体裁のヘッダ、フッタを表示させ、閲覧者には、別のサイトに移動してしまったという印象を与えないようにすること。		
	キーワード検索の際にサジェスト機能を設けること。		
	検索結果を分野や手続き内容などで絞り込むことができること。		
	任意で検索結果が多いキーワードやおすすめのキーワードなどを表示できること。		
	CMS外のデータを絞り込んで抽出できること。		
問い合わせ	すべてのページに、そのページに関するSSLに対応した問い合わせフォームを自動で挿入でき、閲覧者が意見・問い合わせ等を簡単に送信できること。		
アンケート	SSLに対応したアンケートフォームを容易に作成できること。		
	管理者だけでなく、各所属にてアンケートを作成できること。		
	同時に複数のアンケートが設定できること。同時に開設できるアンケートページ数に上限がないこと。		
	アンケートは指定した公開日・削除日に、自動公開・自動削除できること。		
	各アンケートページの設定数は、上限がないこと。		
	各設問は、択一方式(ラジオボタン)、複数選択可(チェックボックス)、プルダウンメニュー、自由記入欄のほか、一般的なフォームのスタイルを自由に採用できること。		
	入力項目には、必須・任意の設定ができること。		
	作成したアンケートページに、画像の貼り付けや各種ファイル(例:PDF)へのリンク、関連ページへのリンク等の掲載ができること。		
	アンケート結果を集計する機能があり、途中集計や集計された結果をCSVファイル等で保存・出力できること。		
	投稿者が送信前に入力内容を容易に確認できること。		
オンライン 広報紙	広報紙(広報ながさき)の原稿データ(PDF・テキスト)をもとに、各記事をコーナー化しウェブページとして公開できること。PDFのリンクやデジタルブックでの掲載を除く。		
デジタルブック	PCおよびスマートフォンにて再生できるデジタルブック(ページをめくるような操作で閲覧できる、拡大縮小機能を有する)を作成できること。		
	作成できるデジタルブックの冊数に上限がないこと、追加の費用が発生しないこと。		